



東京書籍 大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン出展企画

「未来の学び」を考える

西澤 良記

にしざわ よし記

公益社団法人 2025年日本国際博覧会
大阪パビリオン 副代表理事

渡辺 能理夫

わたなべ のりお

東京書籍株式会社 代表取締役社長

東京書籍は、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）大阪ヘルスケアパビリオンに協賛・出展します。公益社団法人2025年日本国際博覧会 大阪パビリオン副代表理事・西澤良記さんと東京書籍社長・渡辺能理夫が、万博にかける思い、パビリオンで表現される「未来の学び」について語り合いました。

大阪ヘルスケアパビリオンとは

西澤 大阪ヘルスケアパビリオンは、協賛企業だけでなく、教育機関や大阪府・大阪市など、産学官民の知恵とアイデアを結集させた参加型のパビリオンです。テーマは「REBORN」。「いのち」や「健康」の観点から、未来社会の新たな価値を提案します。来館者には展示全体を通して「ミライのヘルスケア」「ミライの都市生活」を体験していただきますが、その中で東京書籍には未来の教育についての展示をお願いしています。



↑大阪パビリオンの敷地面積は約1万500m²で、全パビリオンの中で2番目に大きい。提供：(公社)大阪パビリオン

東京書籍が考える「未来の学び」

渡辺 当社の出展コンセプトは「Own Education, Own Life（自分らしく学び・教え、自分らしく健やかに生きる社会）」です。

西澤 子どもたち一人ひとりの多様な才能や能力を埋もれさせず、伸ばしていくための教育はとても重要です。

渡辺 おっしゃる通りです。自分にぴったり合った学び方で学ぶことは、学習者一人ひとりの力を最大限に伸ばし、自分らしい生き方を実現するための大きな力となるのではないのでしょうか。

西澤 展示で具体的に表現されるとインパクトがありそうですね。

渡辺 ブース全体を2050年の学びの場に見立てて展示を行います。ブース中央のテーブルでは、それぞれの学習者に適したサポートを提供する学びのアシスタントの体験を通して、未来の小学生の学



↑東京書籍のブースは、ブース全体を2050年の学びの場とし、学習者一人ひとりが主役となる「未来の学び」を提案する。

活を体験していただきます。また壁面全面を活用した没入型の学習体験コンテンツでは、歴史上の人物との対話など、教科書の世界に入り込むような学習体験を通して、未来の多様な学び方に触れていただきます。

西澤 教育においてはリアル（対面）での活動も重要ですが、デジタルの活用を組み合わせ、学習場面に応じた最適な教育が提供できれば、誰一人取り残されることなく、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現につながると考えます。「未来の学び」の展示・体験に大いに期待しています。

目指すべき教育の姿

西澤 教育は社会の根幹をなすもので、本当に大事なものです。自分自身の学生時代を振り返ると、大学入学時に「大学で何を勉強すればよいのだろう」と思い惑う経験をしました。2010年に大阪市立大学の学長に就任した際には、この経験を思い出し、「この大学で学ぶこと」をテーマとして、各研究科の名物教授や社会で活躍するOB・OGによる講義を新設しました。教育の在り方は「知識の獲得とその応用」から「自らが求め、行動を起こす（課題探索と解決努力）」に変わっていく必要があると思っています。

渡辺 当社は100年以上にわたって教科書を発行してきました。教育の在り方は、「教科書を教える」「教科書で教える」の論争を超えて、これからは「教科書から学ぶ」に変わっていくと考えます。教科書を入口にして、子どもが自分自身で学びを広げ、自分自身の世界を広げていく。そういった学びの流れが必要ですよ。

西澤 おっしゃるように、受け身で終わらず能動的に行動していくことが大事ですね。課題を見つけ、調べ、自分の意見を表現し、他者の意見を聞くという基本的な姿勢が求められます。そのうえで、学びの個性化・個別化がなされるのではないのでしょうか。

2025年 大阪・関西万博にかける思い

西澤 1970年の大阪万博を思い起こすと、人の多さや月の石、人間洗濯機、初めて食べたフランスパンなど、当時の記憶がまだ鮮明に残っていて、展示物の多くが実現しています。今回の万博も同様に、記憶に残る、未来を見通したものにしなければならぬと責任を感じています。

渡辺 振り返ると1970年万博の「進歩と調和」というテーマは素晴らしいですね。

西澤 あついに、「調和」というキーワードが入っているのがポイントですね。

渡辺 1970年の子どもたちは、これからの「進歩」にわくわくしたのではないのでしょうか。今回の万博においても、子どもたちが未来に対して明るいイメージを持てるようにしたいですね。当社は100年以上にわたって、よりよい教育の姿の実現に向き合ってきました。これからの未来社会においても、これまでと同様に、人の学び・教育を支える企業であり続けたいと考えています。

西澤 長きにわたり教育のリーディングカンパニーとして日本の学びを支えてきた東京書籍には、その力を遺憾なく発揮していただきたいです。また学校関係者の皆様には、ぜひ大阪ヘルスケアパビリオンにご来館いただき、「未来の学び」を体験し、その体験を未来の教育現場に活かしていただきたいです。



東京書籍が提案する「未来の学び」

コンセプト

Own Education, Own Life

自分らしく学び・教え、
自分らしく健やかに生きる社会

教育をパーソナライズすることで、誰もが自分らしく、いきいきと豊かな人生を送ることができる未来を目指します。

得意なことや苦手なこと、好きなことや嫌いなこと、それぞれなのは、あたりまえ。

自分にぴったりの教育を通して、学ぶ人も、教える人も、ココロも健康でいられる未来の教育システムの在り方を提案します。

東京書籍
大阪・関西万博
特設サイト
公開中



Osaka
Healthcare
Pavilion
Next for Reborn



東京書籍



東京書籍は大阪・関西万博を応援しています。

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）
主催：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
開催期間：2025年4月13日（日）～10月13日（月）
開催場所：大阪府大阪市夢洲地区

© Expo 2025